

子育てに関する実態調査

母の就労率	フルタイムの勤務(約33%)、無職(約38%)
育児休業	取得したことがあるまたは現在している 父(約1%)、母(約26%)
母が働きたいができない理由	子どもの世話をしなければならない(約85%)
欲しい子どもの数	理想は3人(約56%)、でも予定しているのは2人(約58%)
欲しい子どもの数と違う理由(複数回答)	経済的な負担が増えるから(66.2%)、仕事との両立が大変だから(36.7%)
行政に望むこと	子育て費用を軽くすること、公園など遊び場の整備、仕事と子育ての両立ができる職場環境の働きかけなど

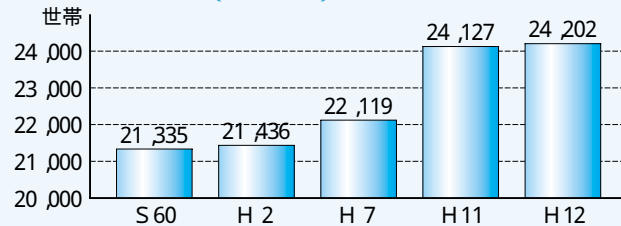
資料：大館市児童育成計画(H13 3月)

人口構成

年	(%)							
	大館市 総数(人)	年少人口(0~14歳)		生産年齢人口(15~64歳)		老年人口(65歳~)		
		大館市	秋田県	大館市	秋田県	大館市	秋田県	
S 60	71,794	26.2	20.0	61.7	67.4	12.1	12.6	
H 2	68,195	17.2	17.9	67.3	66.5	15.5	15.6	
H 7	67,214	15.0	15.6	65.3	64.9	19.7	19.5	
H 11	67,393	13.5	14.0	63.2	63.3	23.3	22.7	
H 12	67,048	13.3		62.3		24.4		

資料：国勢調査(10月1日現在)及び市民課住民台帳(3月末日現在)

世帯数の推移(大館市)



資料：国勢調査及び市民課住民台帳(10月1日現在)

婚姻数と平均初婚年齢

年	大館市 総数(件)	平均初婚年齢			
		全国 男	全国 女	秋田県 男	秋田県 女
S 60	387	28.2	25.5	28.1	25.5
H 2	324	28.4	25.9	28.7	26.2
H 7	357	28.5	26.3	28.6	26.3
H 11	325	28.7	26.8	28.6	26.5
H 12	287	28.8	27.0	28.5	26.5

資料：秋田県衛生統計年鑑

出生数と合計特殊出生率

合計特殊出生率は、未婚既婚を問わず、一人の女性が一生の間に何人の子どもを生むかという近似値を表します。

年	大館市の 出生数(人)	合計特殊出生率		
		大館市	全国	秋田県
S 60	759		1.76	1.69
H 9	572	1.61	1.39	1.52
H 10	543	1.51	1.38	1.48
H 11	547	1.53	1.34	1.45
H 12	533	1.55	1.36	1.45

資料：秋田県衛生統計年鑑

母子保健計画を作るにあたって、子育てに関係の深い各種団体の代表者や、市民のかたなどからなる策定委員会を設けて様々な意見を伺いました。また、統計資料や健診の際のアンケートなども参考にしています。先の大館市児童育成計画を作る際の参考とするために行った「子育てに関する実態調査」の結果からも、市民の皆さんの子育てに対する要望などがわかります。

これらの統計などから、市民の皆さんの子育てや、子育てを取り巻く環境にかかわる様々な事情を知ることができま

す。人口は減少を続けているのに対し、世帯数が増加しているのは、核家族化が進んでいることを表します。この結果、両親が共働きの場合、日中に保育できるかたがいない家庭が増えていきます。

平均初婚年齢は全国、秋田県を見てもどちらも年々上昇傾向にあります。晩婚化は出産の時期を遅らせることにつながります。

日本は平成18年をピークに人口が減少していく見通しです。また、一般に合計特殊出生率が2.1を下回ると人口が減少するといわれています。ベビーブームの昭和22年から24年までの期間を終えたことから着実に少子化が進んでい

て、事態は深刻です。

平成12年度7か月児健康相談でのアンケートでは、大館市の49.1%の母親が育児をとて楽しんで感じています。しかし、育児を楽しんでいるとは思いつつ、仕事との両立や経済的な負担などの問題も抱えています。このことが、欲しい子どもの数と実際に予定している子どもの数との違いに結びついて